

「中国式外交」の影響力拡大 ― 一带一路とファーウェイとハマスが後押し

拓殖大学海外事情研究所教授 富坂聰とみ さか さとし

- * 現地で見た台湾総統選挙
- * 台湾との新しい関係模索する中国
- * 習近平発言のルーツは反国家分裂法
- * 台湾侵攻の手段は武力に限らない
- * 外交での存在感が拡大する中国
- * 一带一路をどう考えるか
- * 力を増す中国の経済力と技術
- * 中国に接近するサウジアラビア
- * ドル経済圏から距離をとる動きも
- * 米中対立の行方について



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、富坂聰先生にお越しいただきました。先生は何度もこちらで講演いただきました。すけれども、『週刊東洋経済』でも長く書いていただきました。先生の過去のご講演なども私は読ませていただいたのですけれども、とにかく大マスコミの中国解釈に関してそれは本当かと、いささか雑なのではないかと疑義を呈されているお話がたくさんあります。今回も、お話を伺いましたら北京、厦門、台湾と現場をずっと先月回ってこられて、実際にいろんな方にお会いして、それを基にお話をされるということを貫いていらっしゃると感じました。

また、先生のお話は基本的に日本人がこう思

いたいといったところに合わせて話をされるのではなくて、中国もしくは中国の共産党がどのように物を考えて、どう行動しているかというところを想像したり確認したりして、それを基にお話をいただいているというわけで、一般受けすることを目指してお話をされているのではないなというふうに、講演録を読みながら感想を持ちました。

今日もおそらく実際の目と足で見てこられたことをベースにお話しいただいて、本当の状況ということを理解できるのではないかと思っております。

先生、それではよろしく願います。（拍手）